

# 第30回 日本緑内障学会

ランチョンセミナー3(LS-3)

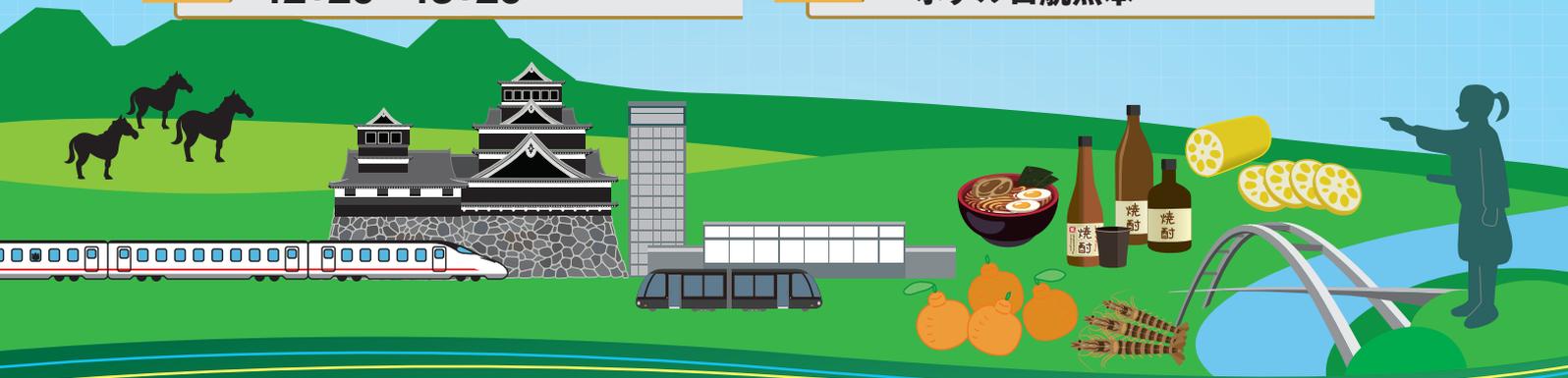
## 主流出路の謎への挑戦

日時

2019年9月6日(金)  
12:20~13:20

会場

第3会場 (5F 阿蘇D)  
ホテル日航熊本



座長

福地 健郎 先生

新潟大学医学部 眼科学分野 教授



主流出路は、房水流出の約8割を担う重要な経路であり、眼圧上昇の原因部位としても広く知られています。近年では、新しい術式や薬物の臨床応用に伴い、主流出路に関する研究が飛躍的に進んでおり、房水制御の謎が少しずつ明らかになってきています。

今回は、主流出路の謎に取り組む二人の先生にご講演いただきます。浪口先生からは主流出路をターゲットにした手術と薬物治療の効果、赤木先生からはOCT、OCTアンギオグラフィーを用いた臨床における主流出路の可視化について最新のトピックスを教えてください。本セミナーが、明日からのより良い緑内障診療につながることを期待しています。

講演  
1

### 主流出路をターゲットとする手術と薬剤

浪口 孝治 先生

愛媛大学大学院医学系研究科  
視機能再生学講座 助教



講演  
2

### 主流出路の可視化戦略

赤木 忠道 先生

京都大学大学院医学研究科  
眼科学教室 准教授



※本セミナーは整理券制です。セミナーへの入場は、整理券をお持ちの方を優先的にご案内します。  
【整理券配布場所】ホテル日航熊本5F ホワイエ 【配布日時(セミナー当日)】2019年9月6日(金)8:00~11:20